

## 市制施行60周年記念特別企画



# 元気な行田のまちづくり



市制施行60周年を記念して、本市在住の女流棋士で、行田市の初代観光大使である矢内理絵子さんをお招きし、工藤市長と対談していただきました。

**市長** お忙しい中、ようこそお越しくださいました。まずは、女王防衛おめでとうございます。

**矢内** ありがとうございます。

**市長** 3連勝での防衛ということですが、対局を振り返ってみての感想はいかがですか。

**矢内** 今回は、運がよかったですごく実感しました。最後の勝負は、途中まで負けている展開でしたが、結果的に勝つことができました。一局一局が接戦だったので、自信のつくシリーズになりました。  
**市長** 強い人は謙虚に振り返って、それをまた、力にしていける。やはり底力というのを感じますね。今日はよろしくお願います。

### 魅力あふれる行田

**市長** 行田で生まれて、今も行田に住み続けている矢内さんが感じる行田の魅力を聞かせてください。

**矢内** 自然豊かなところが好きですね。小さいころは、さきたま古墳公園で自転車で乗る練習などをしたのを覚えています。あの辺りは電線もないので、お正月にはたこ揚げをしている人もたくさんいました。なかなか都会ではそういう光景を見ることがないので、昔ながらの風景が見られるのは素晴らしい場所だなと思います。

**市長** 私は、警察官だった父の仕事の関係で、市内を3、4力所引越しました。

### 年頭のあいさつ

行田市長 工藤正司

新年、明けましておめでとうございませう。市民の皆様には輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

一昨年の米国発金融危機に端を発した急激な景気の後退や雇用環境の悪化、さらには、昨年来の円高やデフレ不況など、我が国の経済環境は依然として厳しい状況が続いています。

このような中、市政運営におきましては、ハードからソフトへの事業転換を図り、「財政の健全化」を基本としてまちづくりを進めるとともに、緊急経済対策や新型インフルエンザ対策などにも迅速に取り組んでまいりました。長